

市政方針

人口の減らないまちへの挑戦

第19回市議会定例会で、岩倉市長は平成27年度の市政方針と予算案を説明しました。市政方針では、高齢化の加速と人口減少が進行する難しい時代の中でも、財政基盤の確立・強化や新たな行政改革プランに基づく取り組みを進め、「人口の減らないまち」の実現に向けた強い決意を表明しました。

市政運営に臨むに当たり、基本政策として3項目、重点施策として10項目、主要施策として総合計画に基づく5つのまちづくりの目標に沿った施策を掲げました。

詳細 政策推進課 TEL(32)6039



岩倉 博文
いわくら ひろふみ
岩倉 博文
市長 岩倉 博文

私

は、3期目の基本テーマとして、「誇れる街 苦小牧へ」活気みなぎるふくしのまちづくり」と発信しました。経済が右肩上がりの時代ではない中で、行政が行うさまざまな「ふくし」を継続するため、新たな歳入の確保に踏み出す決意と、「共助」の精神を育み、優しさが伝わる苦小牧にしたいという願いを込めています。

ま

た、3期目の目標である「財政基盤の強化」そして、20年先を見据えたまちづくりの実践」へ向けて、より効率的な行政運営や経済の活性化に尽力していきます。

高

齢化の加速と人口減少が同時進行していますが、市役所全体で「チーム一丸」となって、魅力あるまちづくりを追求していきます。既成概念にとられない柔軟な発想や創意工夫で困難に立ち向かい、「Change and Fresh」を肝に銘じながら、常に市民目線に立って職務を全うします。

基本政策

(1) 財政健全化

財政健全化計画ステップ3の取り組みで財政状況は着実に改善に向かっていきます。社会保障費の増大や市税収入の減少が予測される一方、公共施設の老朽化対策に備えるため、「(仮称)財政基盤安定化計画」の策定を進めます。

(2) 行政改革

新たな行政改革プランで行

重点施策

▼ 企業誘致

物流拠点としての優位性などを活かし、各種産業の動きを的確に捉え、官民一体となったトップセールスを軸とした誘致に取り組みます。また、立地企業とのマッチングを行うほか、経済界と連携したニーズ把握やきめ細かなフォローアップを行います。

(3) 市民自治の推進

市民と共に支え、助け合う協働の精神のもと、町内会などとの連携を進めます。また、「(仮称)住民投票条例」の提案に向け準備を進めるほか、まちかどミーティングなどを通じ、多くの市民の声をまちづくりに反映します。

▼ 景気・雇用対策

前年度を大きく上回る公共

▼ 053大作戦

「ステージ4」

ごみの分別のさらなる徹底や不法投棄の対策強化などに向け、「053大作戦」ステージ4」を展開します。ごみの減量、リサイクルの推進、まちの環境美化の趣旨を踏まえ、ローコストで効果的かつ効果的なごみ処理の仕組みを次世代に引き継ぐため、まごみで考え、参加、行動してまいります。

▼ キャップ

「まちなか再生総合プロジェクト」

まちづくりを担う人材育成やネットワーク強化に努めるほか、とまチョップによるPRなどで、まちなかの魅力を向上させます。また、建築費用助成制度でまちなかへの